

授業科目名	脳神経医学I (Medical Neuroscience I)		
対象学年	1年生	単位	2単位
科目責任者	あいざわ ひでのり 相澤 秀紀	所属	神経生物学
授業方法	講義（講義補助用資料配布）・演習		
概 要	医師となるために必要な脳神経の基盤医学的知識の習得に向けて、解剖学・生理学などの専門分野にわたる神経系の構造と機能を横断的に学習する。		
講義ユニットの到達目標	細胞内液・外液のイオン組成、浸透圧と静止(膜)電位を説明できる。 膜のイオンチャネル、ポンプ、受容体と酵素の機能を概説できる。 細胞膜を介する物質の能動・受動輸送過程を説明できる。 神経組織の微細構造を説明できる。 活動電位の発生機構と伝導を説明できる。 シナプス（神経筋接合部を含む）の形態とシナプス伝達の機能（興奮性、抑制性）と可塑性を説明できる。 刺激に対する感覚受容の種類と機序を説明できる。 反射を説明できる。 中枢神経系と末梢神経系の構成を概説できる。 主な脳内神経伝達物質（アセチルコリン、ドパミン、ノルアドレナリンなど）とその作用を説明できる。 脊髄の構造、機能局在と伝導路を説明できる。 脊髄神経と神経叢（頸神経叢、腕神経叢、腰神経叢、仙骨神経叢）の構成及び主な骨格筋支配と皮膚分布（デルマトーム）を概説できる。 脳幹の構造と伝導路を説明できる。 脳神経の名称、核の局在、走行・分布と機能を概説できる。 脳幹の機能を概説できる。 大脳の構造を説明できる。 小脳の構造と機能を概説できる。 交感神経系と副交感神経系の中枢内局在、末梢分布、機能と伝達物質を概説できる。		
講義日程	別紙日程表を参照のこと（1年次 第4ターム）		
出席の取り扱い	講義について；出席状況把握システムもしくはTeamsでの出席履歴・Forms・小テスト・レポート課題などにより出席をとる。		
評価項目	到達目標の達成度（基本的理解と知識の応用）		
評価法	講義の終了後に筆記試験を行う。評価は筆記試験の結果を中心として、授業後の小テスト、講義への参加態度などを踏まえて総合的に評価する。		
予習・復習へのアドバイス	講義前後に配布資料を確認し、必要に応じて参考書を用いて、内容の理解に努めること。		
履修上の注意 アドバイス	神経系という共通したシステムに対して、解剖学や生理学など異なったアプローチで理解を進めるため、各回の講義で得られる知識をよく整理して学習する。		
推奨参考書	人体の正常構造と機能（縮刷版、日本医事新報）、イラスト解剖学 第10版（中外医学社）、標準生理学（医学書院）、カandel神経科学（メディカルサイエンスインターナショナル）		